

読むと京極のまちが♡好き♡になる

きょう ごく がっ く

# 京極学区ニュース

上京区社協が発行する、コロナ禍における学区内の動きをお伝えするニュースです。

No.2

Feb.2021



## 京極学区のまちづくり活動について 教えて、会長さん！

今回は、京極住民福祉連合会 亘重好 会長に、コロナ禍中・コロナ禍後のまちづくり活動について、上京区社協職員がお話を伺いました。



### ◎コロナ禍中のまちづくり活動について

高齢の方の孤独死があった時、民生児童委員さんと「高齢の方の顔が見えないね」「高齢の方の中には、行くところがなくお困りの方がいらっしゃるよだね」と、丁寧に意見交換をしました。

そこで、喫茶店で居場所活動を開催するようになりました。

居場所活動に来るとき、みなさん助け合ってこられる。「その人の居場所」は、そうしてでも来たい場所なんちゃうかな。

しかし、参加者は高齢の方が中心ということもあり、コロナ禍になってからは中止にしています。一方、昨年7月からは公園体操を再開しています。屋外の活動ですが、3密回避のため2部制で行っています。

### ◎コロナ禍後のまちづくり活動について

今、気になっているのは、「参加者さんの顔ぶれが固定化すると、新しい参加者さんは行きづらくなる」ということ。スタッフとしては「誰

でもどうぞ」と思ってるのですが。

あと、「活動に適した場所がない」ということ。小学校の、使わせてもらえる部屋は2階ですので、高齢の方・障害がある方にとっては使いづらい。学区内に、気楽に集まれる場所があるといいのですが。

活動する上で大事にしていることは「つながり」と「やさしさ」。今は特に、みなさん不安になっているし…。普段言葉にしないことやけど、大切なことやね。

私は長年、上京の消防団長をしてきました。京都は災害が少ないというが、災害はいつ来るか想定できないものであり決して油断してはいけません。そして災害時、真っ先に被害にあうのは高齢の方や障害がある方です。福祉と防災とわたしたちの暮らしは、実は密接に関係しています。

「普段からご近所さん同士が顔の見える関係を築いておくことで、災害が起きた時にも支えあえる京極学区」を、目指していきたいですね。



コロナ禍前に行われていた、様々なまちづくり活動の様子。



京極学区では、3密や衛生面に気を配りながらまちづくり活動が行われています。



まちづくり活動の内容は、コロナ禍の状況により変更となる可能性があります。

最新の活動は、上京区社協 (Tel:432-9535) までお問い合わせください。

反対側の面も、ぜひご覧ください！

